



KIWA TOPICS

No.2

2009年 3月発行
京都国際木版画協会
Kyoto International
Woodprint Association

KIWAコレクションの保管庫



2008年秋、KIWAは、京都のある教会の空き部屋と出会い、その空間を作品の保管場所として使用できないか模索してきました。そして今、ようやく教会との調整が一段落したところです。

この後、多少の修繕作業を加えることにより、KIWAコレクションの作品に相応しい低湿度、低光度を備える保管庫が完成します。新しい電気回線を引き、屋根を新調するこの修繕作業に要する費用は全てKIWAの負担によって賄われます。加えて、この部屋の賃貸費についてもKIWAが負担していくこととなります。KIWAが保管する作品コレクションは、現時点で2,000点を越えています。保管倉庫の維持は、今後も増え続ける全ての作品に適切に保管する為に、険しくも避けて通れない道なのです。



そこで今回、この倉庫の維持を目的としたKIWA基金を設立しました。一人でも多くの方がKIWAの活動に賛同して下さい、作品の保管にご協力頂ければと願っております。(KIWA基金の詳細については、本トピックス掲載の『KIWA基金について』をご覧ください)。今後ともKIWAの活動を見守って下さいますようお願い申し上げます。
(会長 リチャード・スタイナー)

KIWA春のイベント 折本ワークショップのお知らせ

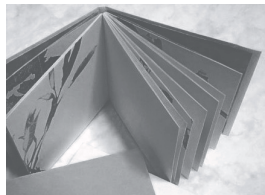
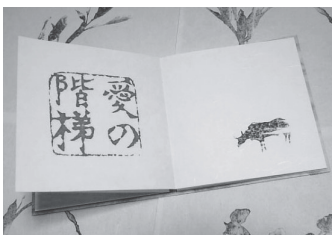
木木版画家、天野玲子さんを講師にお呼びして、「折本」のワークショップを開きます。皆さん「折本」ってご存知でしょうか。そう、字のごとく紙を折って作る本のこと。英語ではアコーディオン・ブックと呼ばれています。製本の仕方がとても簡単なので、あっという間にステキな本を作ることができます。たとえば、自分の木版画作品でちょっとした「本」を作ったり、詩集を作ったり、写真や写生のアルバムを作ったり…。基本的な作り方をマスターすれば、アレンジはいろいろ。表紙を工夫したり、ページ数やサイズなども好みや目的に応じて変えたりと、自由自在です。

まずは「折本ワークショップ」で、基本をマスターしましょう。自分だけのステキな「折本作り」をご一緒に!



天野さんからのメッセージ

表紙も、中身も、他にはない自分だけの折本を作りましょう。
日曜日、春の午後、ゆっくりと手をかけて自分だけの一冊を作ります。
できるだけ簡単な、基本的な方法で作ります。
ワークショップの後にも、それぞれご自分で工夫して本を作れるようにと考えています。
紙を切り、紙を折り、束ねて貼って、それぞれにどんな折本ができるでしょうか。
ぜひご参加ください。



- 講師：天野玲子さん
- 日時：4月26日(日) 1時半～4時半(受付開始：1時15分)
- 場所：京都市国際交流会館、一階、第1会議室
- 会費：KIWA会員2000円、一般2500円 (いずれも材料費込み)
- 当日持参するもの：30cm定規・ヘラ(裁縫用等)orペーパーナイフ・スティック糊・カッター・カッティングマット・星突き・鉛筆・表紙に貼りたい紙
- 申し込み方法：事務局へ郵便・FAX、Eメールでお問い合わせ下さい
- 申込締切：4月12日(定員があるため先着順とさせていただきます)

定員
20名



KIWA基金について



KIWAが保持しているKIWAコレクションの為に保管倉庫を設けることは、私たちの長年の夢でした。これまでに開催したKIWA国際木版画展も5回を重ね、コレクションの作品数は2,000点を超えました。木版画の保管には低湿度、低光度の環境が必要ですが、作品数の増加とともに保管場所の確保が困難になっておりました。

この度、この作品たちの保管場所に相応しい空間と出会うことができ、今は保管倉庫としての活用できるよう、調整を行っているところです（詳細については本トピックスの『作品保管庫について』をご参照ください）。しかし、この調整の中で一番重要な、保管倉庫の維持費についての調整が大変難しい状況にあり、このたびのKIWA基金を設立するに至りました。

今回の基金の募集目的は、2011年開催予定の第6回KIWA国際木版画展に向けて、この空間を保管倉庫として使用できるよう修繕し、それを維持することにあります。2,000点を超える木版画作品からなるKIWAの貴重なコレクションを適切な状態で維持できるよう、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。基金には、金額の設定枠を設けておりません。KIWAは皆様「いま私にできること」をお願いしたいのです。そしてこれを機に皆様にKIWAの活動とコレクションを少しでも身近に感じて頂ければ幸いです。

(リチャード・スタイナー)



オーストリア巡回展 中止のお知らせ

昨今の世界的不況の波がKIWAにも押し寄せてきました。

2009年秋に予定されていたオーストリア巡回展は、経済の深刻な悪化により、取りやめになりました。海外の芸術作品を展示する費用が、当地で捻出できなくなったのです。オーストリア展を企画してきたマンフレッド・エッガー氏（「京都新聞社賞」受賞作家）のもとに、昨年末、オーストリア政府から援助を撤回するという通知が届いて以降、エッガー氏と私は、緊密に連絡を取り合いながら可能性を検討してきましたが、今回はあきらめざるを得ないという結論に達しました。

しかし、これは「一時的なあきらめ」でしかありません。なぜなら、世界経済はやがて回復してきますし、2011年には第6回KIWA展も開催されるからです。KIWA展は毎回、大変好評を博していますので、2011年以降も巡回展の依頼があると私たちは信じています。

昨秋、高鍋町美術館で開催された巡回展も地元の方々から喜ばれ、いい成果をあげました。KIWAコレクションを紹介する機会は、今後、日本の内外を問わず、多く待ち受けていることと確信しています。私たちも皆様と同じく、出費を切り詰めながら、気長に活動を続けていくつもりです。

いつも皆様からお寄せ頂いている暖かいご支援に深く感謝いたします。どのようなご支援も無駄にすることなく、KIWAは忍耐強く活動を続け、成長していきたいと思っております。

(リチャード・スタイナー)

■編集後記

KIWAにとって2009年は飛躍の年です。春を目前に、念願の収蔵庫を確保することができました。残念ながら、予定していた海外での巡回展は流れてしまいましたが、春からは、良いお知らせを皆様にお伝えできるようスタッフ総出で励みますので、引き続きご支援のほどをよろしくお願い致します（^^）ふき

■発行 京都国際木版画協会(KIWA)

住所：〒606-0816

京都市左京区下鴨松ノ木町64-29

E-mail: sat-steiner@nifty.com

URL: <http://www.kiwa.net>

編集：針谷扶希 大矢礼子 KIWAスタッフ

翻訳：堀まとか スタイナー紀美子